

第14回 FRIENDLY 水泳記録会
新型コロナウイルス感染対策指針

【共通版】

- 当日朝、受付にてADカードを全員（事前に申込をしている、選手・役員・コーチ・介助者・同伴者・保護者）に配布します。首にかけるなどして常時携行し見えるように行ってください。一時退館し再入場の場合は、ADカードがなければ入館できません。
- 大会前2週間において、以下の事項に該当する場合は、記録会の参加を見合わせることに。
 - ・平熱を超える発熱
 - ・咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・臭覚や味覚の異常
 - ・体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触に該当する、または可能性がある場合
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
 - ・居住、または勤務する自治体から、不要不急な外出の自粛要請が発令された場合
- 「健康チェックシート兼同意書」に必要事項を記入し、持参すること。
- 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- 施設内の全ての場面で、人との距離（できるだけ2m以上）をとって行動すること。（誘導や介助を行う場合を除く）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- 唾や痰、鼻水などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り自宅に持ち帰って、廃棄すること。
- 食事については、2F観覧席か密を避け屋外で行うこと。ただし、ごみの廃棄は必ず各自で責任をもって行うこと。
- 飲み物の残りは、自宅に持ち帰り処分すること。
- 大会主催者・施設管理者が決めたその他の措置・指示について従うこと。
- 大会終了後2週間以内に「新型コロナウイルス感染症を発症した」場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- 記録会の開催にあたり、変更事項などあればホームページに掲載しますので、前日や当日朝も含め確認すること。
- 厚生労働省から提供されている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の活用に努め関係者全員で感染対策および感染の疑いが発覚した場合に直ちに適切な対応が図れるように努めること。

記録会当日の主催者による対策事項

- 受付にて検温、手指消毒、マスク着用確認、健康チェックシートの回収を徹底します。
- 競技は、原則1レーン空けて選手同士・役員同士の距離が確保できるように努めます。
- 非公認大会ではありますが、指導の一環で泳法審判や折返観察員等、公認大会同様に配置していましたが、本記録会は最少人数で運営を行います。
- 更衣室のドアノブ、トイレのレバーなど素手で多く接触する箇所については、適宜消毒を行うようにスタッフを配置します。更衣室、トイレなどでは密を避け、飛沫が飛ばないように最小限の会話できれいに使っていただくようご協力をお願いします。

<参考ホームページ>感染予防に向けて、以下のような情報もご覧ください。

- ・国民の皆さまへ（新型コロナウイルス感染症）（厚生労働省ホームページ）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00094.html#yobou

社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（令和2年5月14日スポーツ庁作成・令和2年5月25日改訂）

https://www.mext.go.jp/sports/content/20200514-spt_sseisaku01-000007106_1.pdf

- ・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（令和2年3月28日（令和2年5月25日変更）・新型コロナウイルス感染症対策本部決定）

https://corona.go.jp/expert-meeting/pdf/kihon_h_0525.pdf

- ・新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」（厚生労働省 ホームページ）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html

- ・スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（公益財団法人日本スポーツ協会、公財財団法人 日本障がい者スポーツ協会）

<https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/jspo/guideline.pdf>

- ・新型コロナウイルス感染症対策（COVID-19）としての水泳再開に向けてのガイドライン（一般社団法人 日本身体障がい者水泳連盟）

<https://info.paraswim.jp/wp/wp-content/uploads/2020/09/6dd1a5b9b231e8c3e78433f7e6826b85.pdf>

*本指針でいう「マスク」とは、布マスク、不織布マスクのほか、フェイスシールドやマウスシールドといった、飛沫感染対策に有効と考えられるものをいう。

第14回 FRIENDLY 水泳記録会
新型コロナウイルス感染対策指針
【選手版】

共通版のほか、以下の感染対策も講じること

- 水泳用具・飲食物・ストレッチマット等は、専用の物を用意し共用しないこと。
- 練習時に、各レーン内で待機する場合やスタート練習で並ぶ場合も距離を保つこと。
- 選手控え場所・観覧席で、人との距離・座席間の距離を保つこと。
- 観覧席の座席を使用する際は、左右に1座席分は最低でも間隔をあげ、前後は斜めになるように配置・使用すること。
- 泳ぐとき以外はマスクを着用すること。(更衣室・招集所・選手控え場所・観覧席・プールサイド・トイレなど)
- 招集所横に、マスク等の荷物を置けるスペースを設置しますが、レース前にはずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。(マスクを直に置き、第三者の手に触れないようにする)
- 招集所での選手間の会話、レース後の選手間の会話を控えること。
- 招集所に早くから待機し、密にならないように心掛けること。
- レース後は速やかにプールサイドから退場し、更衣を済ませ控所に戻ることに。
- 感染予防のため、会話を最小限に控えること。特にレース前とレース後でマスクがない状態での会話は控えること。
- 審判長の笛は電子ホイッスルを採用します。使用する機械の種類によって音が異なります。予めご了承ください。
- 更衣室など、会場内に忘れ物がないように必ず確認して退館すること。感染予防のため、場合によっては預からずにそのまま廃棄する場合がございます。

第 14 回 FRIENDLY 水泳記録会
新型コロナウイルス感染対策指針
【コーチ・介助者・同伴者・保護者版】

本記録会は無観客として開催するが、所属するコーチ、身体障害の選手で介助が必要な方、知的障害・精神障害の選手で同伴が必要な方、競技面でなく控所等で生活面のサポートが必要な選手（特に未成年や知的障害の選手）は事前申請を行ったうえで、入館を許可するものとする。

コーチの事前申請については、コーチ申込書に記入し選手の参加申込書とともに提出すること。

介助者・同伴者・保護者については、選手申込書の下部に記入して提出すること。団体用申込用紙を使用する場合は、所定の枠に記入しておくこと。ただし、介助者・同伴者・保護者については、選手1名につき1名までを原則とするが、障害がゆえに2名必要な場合はこの限りではありません。（例：タッパーや重度障害で2人必要な場合など）

共通版のほか、以下の感染対策も講じること。

また選手版にも目を通し、関係する選手へ指導を行うこと。

- コーチは練習時のみプールサイドに立ち入ることができ、レース中は2 F 観覧席以外での応援や休憩はできないものとする。応援席の数が限られているため、該当選手がいない場合は、席を譲るなどの譲り合いで対応すること。
- 介助者は必要な介助を行うため、選手に同行して移動することは可能であるが、不必要な会話や応援、コーチングを行ってはならない。
- 介助者は感染防止対策を前提に、1名の介助者が複数の対応をするのではなく、1選手につき1名が担当することが望ましいとする。
- 同伴者は必要な対応、誘導を行うため、選手に同行して移動することは可能であるが、不必要な会話や応援、コーチングを行ってはならない。
- 保護者は2 F 観覧席以外での応援や休憩はできないものとする。可能な限り、屋外や車中待機など観覧席の人数が収容人数50パーセントを超えないように譲り合うこと。人数によっては、主催者より一時退館をお願いする場合があります。

コーチ・介助者・同伴者・保護者を以下、「介助者等」という

- 介助者等は、練習時や控所等で大きな声での指示を控えること。
- 介助者等は、常にマスクをすること。その上で、大きな声での会話を控え、選手やその他関係者との会話も最小限に努めることとする。また、長時間室内で過ごさないように、適宜屋外などへ移動し、最大限密を避ける努力と配慮を行う。
- 介助者等は、主催者からの連絡事項や指示があった際、選手へ通達し誘導すること。
- 忘れ物など通常は主催者もしくは会場事務局で一定期間保管するが、感染予防のため、場合によっては預からずにそのまま廃棄する場合がございます。